

電 力 情 報

NO. 47

平成20年10月28日

東 北 電 力 (株)

9 月 分 の 電 力 需 給 実 績 に つ い て

1. 電力需要について（表 - 1 参照）

9月分の販売電力量は、67億7,000万kWh、対前年比97.1%の実績となりました。これを用途別にみますと、以下のとおりです。

○ 特定規模需要以外の需要（自由化対象以外のお客さま）

電灯は、9月の気温が前年に比べ低めに推移したことで冷房需要が減少したことなどから、対前年比94.3%の実績となりました。

特定規模需要以外の需要の合計では、対前年比93.5%の実績となりました。

○ 特定規模需要（自由化対象のお客さま）

業務用電力は、9月の気温が前年に比べ低めに推移したことで冷房需要が減少したことなどから、対前年比95.6%と前年を下回る実績となりました。

特定規模需要の合計では、対前年比98.7%の実績となりました。

なお、産業用その他電力については、大口電力が大きなウエートを占めており、その概要は以下の参考のとおりです。

[参 考]

○ 大口電力

大口電力は、「非鉄」の生産が堅調に推移していることなどから、対前年比101.9%の実績となり、46カ月連続で前年実績を上回りました。

2．供給力について（表 - 2 参照）

9月の発受電電力量の合計は、73億1,400万kWhとなり、対前年比98.5%、対計画比100.4%の実績となりました。

（自社水力）

電源地点の降水量は少なかったものの、貯水池の有効活用などにより、出水率107.3%の豊水となりました。

発電量は前年を1,600万kWh上回る6億4,800万kWhとなりました。

（自社火力）

他社火力の前年度との運転状況の違いにより受電減となったことなどから、発電量は前年を2億4,700万kWh上回る40億6,300万kWhとなりました。

（自社原子力）

女川原子力発電所3号機の前年度との運転状況の違いなどにより、発電量は前年を2億3,200万kWh上回る20億500万kWhとなりました。

（他社受電）

他社火力の前年度との運転状況の違いなどにより、他社受電合計では前年を3億900万kWh下回る16億3,500万kWhとなりました。

以 上